LUCKY

2009.2

第39期　報告書

平成20年3月1日から平成21年2月28日

LUCKY 北雄ラッキー株式会社

JASDAQ:2747

株主の皆さまへ

ごあいさつ

北雄ラッキー株式会社
代表取締役社長　桐生　泰夫

株主の皆様には、平素より当社の経営につきまして特段のご理解とご厚情を賜り、有難く厚く御礼を申し上げます。当社は創業以来、一貫して地域のお客さまに愛されるお店づくりを目指し、より美味しく、より豊かに、より健康にという理念のもと歩んでまいりました。

昨年を振り返りますと世界的な金融情勢の悪化に伴い、企業収益や個人消費に大きな影響を及ぼし全国的に大変厳しい一年となりました。小売業にとりましては社会情勢が激動するなか、お客さまのニーズも多様化し、更には本州企業の進出なども進み、まさに大きな変革の時代を迎えようとしております。

こうしたなか、当社はこれまで培ってまいりました品質の向上、美味しさの追求、価値あるサービスの提供に磨きをかけることはもちろんでありますが、まずはお客さまに対して安全・安心な商品をお届けすることを第一とし、地域のお客さまから信頼されるライフラインとしてあり続けることに全力を注ぎ、豊かな暮らしに貢献できる企業となれるよう念願しております。また、最近の環境問題の重要性を十分認識したうえで、当社もこれまでレジ袋などの削減に努め成果をあげてまいりましたが、まだまだ不十分であると考えております。今後これまで以上に省資源・省エネルギーに対し積極的に取組むことで環境問題に十分配慮を実施している企業として評価をいただけるよう努めてまいります。

流通業として課題は山積しておりますが、これからもお客さまからそしてステークホルダーの皆様から信頼され愛される企業を目指して、役職員一同全力で努力する所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

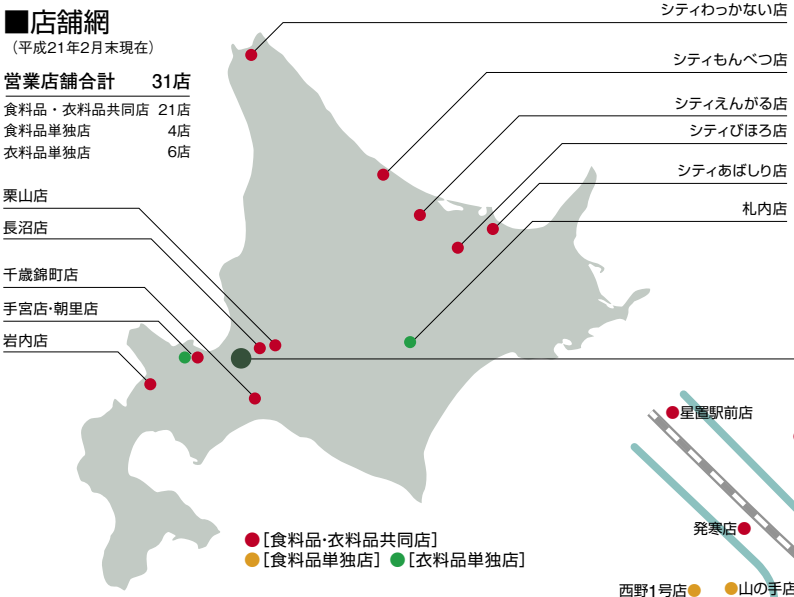
昭和46年4月、食品の小売および卸売を目的として株式会社オレンジチェーンを設立。昭和49年5月、商号を株式会社山の手ストアーと改めチェーン展開を開始し、更なる店舗規模の拡大と集客部門の充実強化を図るため、昭和57年5月に札幌市内を中心に衣料品のチェーン展開を行っていた株式会社まるせんと合併。商号も現在の北雄ラッキー株式会社に変更しました。

その後、一層のチェーン展開を図り、石狩市、小樽市、道東の美幌町・遠軽町、道央圏の千歳市・栗山町・長沼町と規模を拡大し、更に道東地区のドミナント化を図るため網走市、紋別市へ進出、平成17年10月には道北の稚内市へと営業エリアを広げ、平成21年2月末現在31店舗を展開しております。今後も、企業理念である「北雄ラッキーは、日本一質の高いスーパーマーケットをめざします。」を掲げ、お客さまに感動を与えるサービスとともにニーズの変化を敏感に捉え、一歩先を行くスーパーマーケットの創造に努力を続けていきます。

■店舗網

（平成21年2月末現在）

営業店舗合計	31店
食料品・衣料品共同店	21店
食料品単独店	4店
衣料品単独店	6店



おしゃれなインストアベーカリーコーナー

▼札幌市近郊店舗分布

■本　部　〒060-0011 札幌市中央区北11条西19丁目36番35号
☎011-643-3301

■デリカセンター　小樽市銭函3丁目193-1 ☎0134-62-1717
■シティデリカセンター　北海道網走郡美幌町字青山北53-3　☎0152-75-2060
■生鮮センター　札幌市中央区北12条西19丁目36-168　☎011-623-0570
■低温センター　札幌市中央区北12条西19丁目36-168　☎011-643-4511
■物流センター　北海道石狩市新港西3丁目700　☎0133-75-8877

〈連結子会社〉
■エル食品(株)　札幌市中央区北11条西19丁目36番35号 ☎011-622-9446
■(株)アップル　札幌市中央区北11条西19丁目36番35号 ☎011-643-5990

「ナチュラルラッキー商品」の展開

有機野菜の展開

これからのキーワードである、お客さまの健康増進や病気予防のお役に立ちたいとの思いから、「ナチュラルラッキー」というコンセプトを導入し、有機野菜、特別栽培野菜、無添加商品、有機素材の加工品などの展開を強化しております。
幸いお客さまからのご支持も年々に高まり、昨年度も取扱高を大きく拡大しております。今後も健康と安全へのこだわりを続けてまいります。

NATURAL LUCKY　TASTY LUCKY

「テイスティラッキー商品」の開発

もう一方の商品政策の柱としては、味と美味しさにこだわった逸品をご提供する「テイスティラッキー」というコンセプトを導入しております。
「なんぽろジンギスカン」は南幌町で創業44年の伝統を誇る味付ジンギスカンで美味しさが評判です。
もう一品はオリジナル「ホテルブレッド」。南部鶏の卵と発酵バターを使用するなど素材吟味が特徴です。これからもテイスティ商品の開発に努めてまいります。

なんぽろ
ラムジンギスカン

ラッキーオリジナル
「ホテルブレッド」

地産地消の推進

近郊野菜のアピール

輸入食品の安全性の問題が大きくクローズアップされるなか、国内産の需要が高まりつつあります。北海道内ではここ数年地産地消というキャンペーン活動が注目を集め、消費者の大きな関心事となっております。当社におきましても、この重要性を認識し近郊農家との契約による地場野菜をはじめとし、道内産水産物の展開にも力を注ぎ、お客さまよりご好評をいただいております。

環境問題への取組み

レジ袋の削減に努めた結果、札幌市内を中心として有料化実施店舗でのレジ袋の辞退率は90%近くまで推進されました。今後地方店舗へも範囲を広げ、順次実施してまいります。また新年度より環境問題への取組み実施のため専門部署を設けエネルギーの削減、ゴミの削減に努め、社会の要請に応えてまいります。

大曲店

札幌市の隣町である北広島市大曲に開設された巨大ショッピングセンター「インターヴィレッジ大曲」のテナントモールの一角に、平成20年6月26日、当社の衣料品店を新規開店いたしました。当ショッピングセンターは「ケーズデンキ」「カインズ」をキーテナントとして、札幌市はもとより広範囲からの集客が期待されるショッピングゾーンとして注目を集めています。

〈店舗概要〉

所在地	北海道北広島市大曲262
立地	札幌市清田区より車で5分
売場面積	216坪
従業員数	社員1名 パートタイマー6名(1日8時間換算)
オープン日	平成20年6月26日

「インターヴィレッジ大曲」外観

ミセスを中心とし、ファミリー衣料を展開

広域商圏が期待できる複合テナントモールに出店

岩内店

以前より開発地域として計画しておりました北海道後志支庁管内 岩内町へ初出店いたしました。
商圏は共和町、倶知安町、泊村、島牧村など広域からの来店も見込まれ、岩内町はもとより周辺地域の活性化への貢献も期待されています。

〈店舗概要〉

所　在　地	北海道岩内郡岩内町字栄169番地
立　　地	岩内町内の中心街
総床面積	907坪
売場面積	634坪
駐車台数	160台
目標売上	年間17億円
従業員数	社員15名 パートタイマー58名(1日8時間換算)
オープン日	平成20年9月12日

オープン直後は、入場制限させていただく程の活況

新鮮なフルーツ、サラダコーナー

客層はお年寄りからお子様まで、幅広くご利用いただいております。

当期の概況

●営業の状況

当連結会計年度におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した金融危機後も米国の大手証券会社等の破綻により金融情勢の更なる悪化を招くなど世界的な需要の落込みの影響により、企業収益の大幅な悪化や個人消費の減速が一段と鮮明となりました。

北海道内の景気判断につきましては、長引く一次産業の不振や公共投資の減少などによる影響が色濃く反映されており、全国的判断との格差が大きく、設備投資や個人消費の面で長期にわたり低迷が続いております。

流通小売業を取巻く環境につきましては、上半期においては輸入原材料の高騰に伴う小売価格の上昇により、消費行動に節約意識が見られるようになったこと、また夏場以降の原油価格の急騰に伴い買い控え行動が急速に顕著となり、生活防衛意識が一段と高まったことなどにより、大変に厳しい状況のまま推移いたしました。

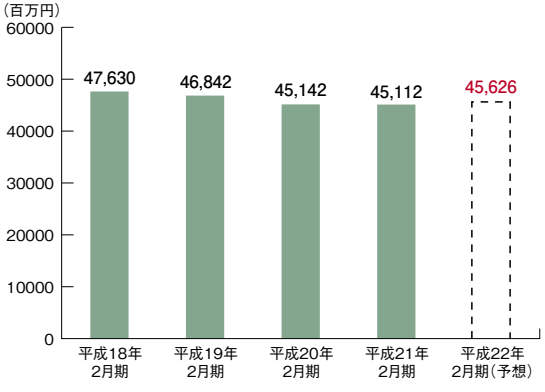
当社グループ「スーパーマーケット事業部門」では、こうした競合環境に対抗するため、買上点数や客単価の向上を図るため年間52週重点販売商品の積極的な販売強化やポイントサービスデーの強化などの販売促進策に努めてまいりました。一方では仕入コストの削減、在庫状況の改善、ロス対策の強化などに取組むことで、荒利益率の確保に力を注いでまいりました。

管理面におきましては、販売強化に伴い広告宣伝費や販売手数料等が負担増となりましたが、適正人員配置の徹底を継続したことにより人件費につきましては幾分の減少となったことや、下半期後半からは重油・灯油価格の下落効果もあり一般管理費トータルといたしましては、前年同期間対比ではほぼ同等の水準に留めることができました。

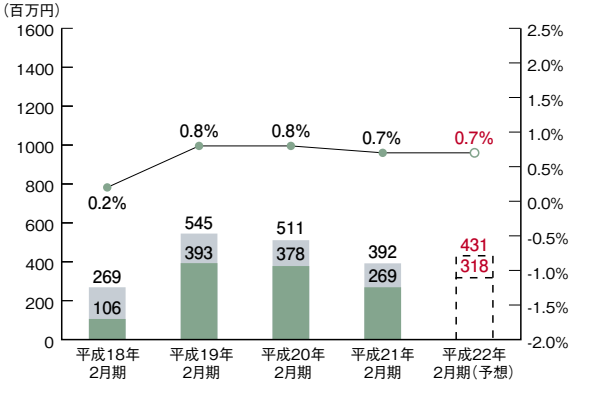
店舗につきましては、平成20年6月に衣料品店である大曲店を、9月には食品衣料共同店舗である岩内店を新規に開店いたしました。また9月には美幌店内の建物の一部を改修し、米飯類の供給センターを稼働させ、道東地区における惣菜の強化と効率化を実現いたしました。

「その他の事業部門」につきましては、エル食品（株）TSUTAYA篠路店では魅力ある売場づくりを目指し、商品構成の見直しを実施してまいりましたが、レンタル事業につきましては順調となったものの販売事業で伸び悩んだこと、また（株）アップルにつきましても、保険業界の冷え込みのなか代理店間での競合による影響を受けたことなど、いずれも厳しい結果となりました。両事業部門を合わせまして、当連結会計年度の売上高は45,112百万円（前連結会計年度比99.9%）、営業利益は392百万円（前連結会計年度比76.7%）、経常利益は269百万円（前連結会計年度比71.1%）、当期純利益につきましては貸倒引当金戻入益265百万円があったことにより334百万円（前連結会計年度比237百万円の増）となりました。

連結売上高の推移と予想（18年2月期～21年2月期実績と22年2月期予想）



連結営業利益の推移と予想（18年2月期～21年2月期実績と22年2月期予想）
連結経常利益の推移と予想（18年2月期～21年2月期実績と22年2月期予想）
売上高対経常利益率



●次期の見通し

今後の見通しにつきましては、世界的な金融情勢の回復にはかなりの時間を要すると思われます。日本経済はこうした外需の低迷による影響が大きく厳しい状況が続くものと思われます。一方、内需につきましても失業などの広がりに伴う雇用情勢の悪化、所得減少傾向の鮮明化、少子高齢化の進行など明るい材料には乏しく需要の大きな変化は望めないものと予測されます。こうした状況のなか、当社グループにおきましては引続き販売力の強化による競争力の構築と徹底したコストの削減による経常利益の確保が最大の経営課題と捉えております。これら課題の解決に向け、販売政策の面では既に軌道に乗っております週間重点販売商品の集中販売、効果的なポイントサービスの実施、競合各社と対抗するための低価格の打ち出しなどにより売上拡大を図るとともに、競合店対策、不振店対策の徹底を実施してまいります。商品政策の面では、長年にわたり当社グループの柱としております「健康と安全」「味と美味しさ」をテーマとした商品づくりの充実を継続するとともに、お客様のご要望が強い国産商品の取扱い、また地産地消の観点より北海道産の商品にこだわった品揃えを目指してまいります。

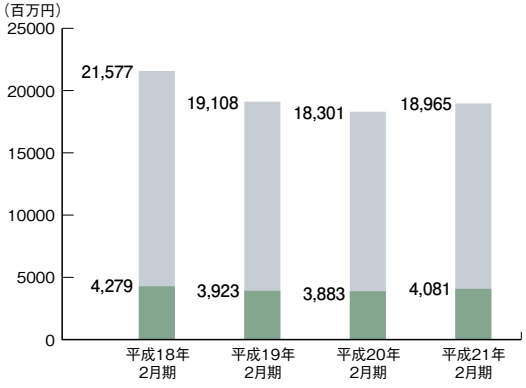
店舗運営の面では、人時生産性の向上、作業人員の適正化を引続き目指してまいります。既に昨年度より具体的目標の設定により成果が表われておりますことから、更にその精度を高めてまいります。また鮮度の維持、作業負担の軽減を図るため在庫の削減・適正化にも改善効果が認められるため、引続き部門間でのバラツキがないよう削減に努めてまいります。

設備投資につきましては、6月に衣料品単独店を北海道千歳市に出店を予定するほか、既存店の改装を計画しておりますが、投資につきましては堅実な範囲にて実施してまいります。

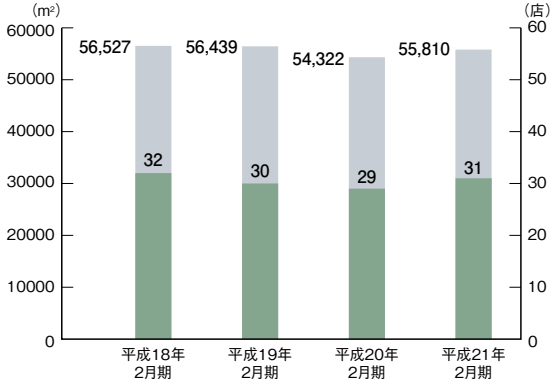
管理面におきましては、内部統制報告書作成実施年度にあたるため、財務報告が適正かつ迅速に作成されるよう努めてまいります。また環境問題がクローズアップされるなか、平成21年4月からは省エネルギー法の改正に伴い、エネルギー管理者の設置及び報告書の提出が義務付けられますことを踏まえ、新年度より社内に環境問題の専門部署を設け、積極的に時代の要請に対処することといたしました。当社グループはこうした課題を着実に実施していくことにより、厳しい経営環境にあるなか競争力のある企業の構築に向けて取組んでまいる所存であります。

株主の皆様におかれましては、引続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。次期の業績見通しにつきましては、売上高は45,626百万円（前連結会計年度比101.1%）、営業利益は431百万円（前連結会計年度比110.1%）、経常利益は318百万円（前連結会計年度比118.3%）、当期純利益は141百万円（前連結会計年度比42.3%）と見込んでおります。

連結総資産の推移（18年2月期～21年2月期実績　4期分）
連結純資産の推移（18年2月期～21年2月期実績　4期分）



期中平均売場面積の推移
期末店舗数の推移



財務諸表（連結）

●連結貸借対照表

単位:千円

科目	前期 平成20年2月29日現在	当期 平成21年2月28日現在
〈資産の部〉		
流動資産	4,194,191	4,432,363
現金及び預金	1,699,055	1,808,455
受取手形及び売掛金	224,576	252,073
たな卸資産	1,695,748	1,798,710
繰延税金資産	87,623	87,703
その他	487,216	485,934
貸倒引当金	△ 30	△ 514
固定資産	14,107,636	14,533,433
有形固定資産	10,816,824	11,243,140
建物及び構築物	3,614,346	3,928,490
車輌運搬具	966	525
土地	7,133,063	7,242,452
建設仮勘定	9,432	6,891
その他	59,016	64,780
無形固定資産	21,839	24,103
投資その他の資産	3,268,972	3,266,189
投資有価証券	318,205	165,369
繰延税金資産	427,065	476,107
差入保証金	2,620,752	2,458,110
その他	168,521	166,601
貸倒引当金	△265,572	—
資産合計	18,301,827	18,965,796

単位:千円

科目	前期 平成20年2月29日現在	当期 平成21年2月28日現在
〈負債の部〉		
流動負債	8,519,296	10,016,020
支払手形及び買掛金	2,805,614	3,406,110
短期借入金	3,732,497	4,719,800
1年以内返済予定の長期借入金	897,936	701,412
未払法人税等	62,596	106,387
賞与引当金	140,872	139,278
その他	879,780	943,032
固定負債	5,898,966	4,867,782
社債	600,000	600,000
長期借入金	3,774,111	2,762,199
退職給付引当金	755,304	785,362
役員退職慰労引当金	293,736	293,560
その他	475,814	426,661
負債合計	14,418,263	14,883,803
〈純資産の部〉		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金	465,258	465,258
利益剰余金	2,729,554	2,997,901
自己株式	—	△ 1,043
株主資本合計	3,836,621	4,103,924
その他有価証券評価差額金	46,942	△21,931
純資産合計	3,883,564	4,081,992
負債純資産合計	18,301,827	18,965,796

●連結損益計算書

単位:千円

科目	前期 平成19年3月 1日～ 平成20年2月29日	当期 平成20年3月 1日～ 平成21年2月28日
売上高	45,142,196	45,112,155
売上原価	33,896,697	33,901,583
売上総利益	11,245,499	11,210,571
営業収入	1,104,186	1,099,608
営業総利益	12,349,686	12,310,179
販売費及び一般管理費	11,838,320	11,918,066
営業利益	511,365	392,112
営業外収益	72,938	80,253
営業外費用	205,705	203,179
経常利益	378,599	269,186
特別利益	10,122	289,247
特別損失	115,877	73,851
税金等調整前当期純利益	272,843	484,582
法人税、住民税及び事業税	123,924	153,571
法人税等調整額	51,651	△ 3,792
当期純利益	97,267	334,803

●連結キャッシュ・フロー計算書

単位:千円

科目	前期 平成19年3月 1日～ 平成20年2月29日	当期 平成20年3月 1日～ 平成21年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	270,873	986,669
投資活動によるキャッシュ・フロー	254,238	△ 548,968
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 599,484	△ 288,300
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 74,373	149,400
現金及び現金同等物の期首残高	803,428	729,055
現金及び現金同等物の期末残高	729,055	878,455

●連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成20年2月29日残高	641,808	465,258	2,729,554	－	3,836,621	46,942	46,942	3,883,564
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 66,457		△ 66,457			△ 66,457
当期純利益			334,803		334,803			334,803
自己株式の取得				△1,043	△ 1,043			△ 1,043
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△68,874	△68,874	△ 68,874
連結会計年度中の変動額合計	－	－	268,346	△1,043	267,303	△68,874	△68,874	198,428
平成21年2月28日残高	641,808	465,258	2,997,901	△1,043	4,103,924	△21,931	△21,931	4,081,992

財務諸表（個別）

●個別貸借対照表

単位:千円

科目	前期 平成20年2月29日現在	当期 平成21年2月28日現在
〈資産の部〉		
流動資産	4,043,402	4,229,242
現金及び預金	1,646,157	1,677,538
受取手形	393	136
売掛金	222,636	250,606
商品	1,573,476	1,698,587
貯蔵品	31,163	31,977
前払費用	135,129	125,241
繰延税金資産	84,520	86,293
未収入金	342,778	352,869
その他	7,175	6,511
貸倒引当金	△30	△520
固定資産	14,038,959	14,509,685
有形固定資産	10,799,232	11,243,140
建物	3,421,131	3,708,275
構築物	178,402	220,215
車輌運搬具	665	525
器具備品	56,537	64,780
土地	7,133,063	7,242,452
建設仮勘定	9,432	6,891
無形固定資産	21,074	23,775
ソフトウェア	3,173	5,874
電話加入権	17,900	17,900
投資その他の資産	3,218,652	3,242,769
投資有価証券	298,013	165,369
繰延税金資産	426,525	475,726
差入保証金	2,571,626	2,415,084
その他	188,058	186,588
貸倒引当金	△265,572	—
資産合計	18,082,361	18,738,928

単位:千円

科目	前期 平成20年2月29日現在	当期 平成21年2月28日現在
〈負債の部〉		
流動負債	8,484,921	9,974,304
買掛金	2,790,072	3,393,719
短期借入金	3,732,497	4,719,800
1年以内返済予定の長期借入金	897,936	701,412
未払金	503,915	543,146
未払費用	201,688	211,409
未払法人税等	58,226	92,769
未払消費税等	55,631	45,294
前受金	21,554	18,023
預り金	83,532	110,456
賞与引当金	139,867	138,272
固定負債	5,893,221	4,854,804
社債	600,000	600,000
長期借入金	3,774,111	2,762,199
退職給付引当金	754,009	783,510
役員退職慰労引当金	289,286	288,340
長期預り保証金	459,577	416,561
リース資産減損勘定	16,237	4,193
負債合計	14,378,142	14,829,109
〈純資産の部〉		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金	465,258	465,258
利益剰余金	2,552,803	2,825,727
自己株式	—	△ 1,043
株主資本合計	3,659,870	3,931,750
その他有価証券評価差額金	44,348	△21,931
純資産合計	3,704,218	3,909,818
負債純資産合計	18,082,361	18,738,928

●個別損益計算書

単位:千円

科目	前期 平成19年3月 1日～ 平成20年2月29日	当期 平成20年3月 1日～ 平成21年2月28日
売上高	44,791,397	44,781,651
売上原価	33,863,740	33,846,091
売上総利益	10,927,656	10,935,560
営業収入	1,117,168	1,112,260
営業総利益	12,044,824	12,047,820
販売費及び一般管理費	11,547,260	11,664,727
営業利益	497,564	383,092
営業外収益	69,923	76,732
営業外費用	205,701	203,170
経常利益	361,786	256,654
特別利益	10,122	265,572
特別損失	115,217	52,634
税引前当期純利益	256,690	469,593
法人税、住民税及び事業税	119,225	137,712
法人税等調整額	50,492	△7,500
当期純利益	86,971	339,381

●剰余金処分

期末配当に関する事項

(1)配当財産の種類

金銭といたします。

(2)配当財産の割当に関する事項及びその総額

普通株式　1株につき金10円

配当総額　66,432,010円

(3)剰余金の配当が効力を生じる日

平成21年5月27日

(参考)

1. 当期における配当性向　19.6%

2. 1株当たり配当金の推移(期末時)

16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
15.0円	5.0円	10.0円	10.0円	10.0円

●株主資本等変動計算書

当事業年度(平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本									評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金		利益剰余金合計					
					別途積立金	繰越利益剰余金						
平成20年2月29日残高	641,808	161,000	304,258	465,258	2,465,000	87,803	2,552,803	－	3,659,870	44,348	44,348	3,704,218
事業年度中の変動額												
剰余金の配当						△66,457	△66,457		△66,457			△66,457
当期純利益						339.381	339,381		339,381			339,381
自己株式の取得								△1,043	△1,043			△ 1,043
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)										△66,280	△66,280	△66,280
事業年度中の変動額合計	－	－	－	－	－	272,923	272,923	△1,043	271,880	△66,280	△66,280	205,599
平成21年2月28日残高	641,808	161,000	304,258	465,258	2,465,000	360,727	2,825,727	△1,043	3,931,750	△21,931	△21,931	3,909,818

会社概要

設立	1982(昭和57)年5月10日
本社	〒060-0011 札幌市中央区北11条西19丁目36-35
資本金	6億4180万円
代表者	代表取締役社長　桐生　泰夫
従業員数	正社員　552名 パートタイマー　1,630名 (1人8時間換算　月平均) 平成21年2月末日現在
営業品目	生鮮食料品･加工食品･菓子･衣料品･ 日用雑貨･米･酒

役員	代表取締役社長　桐生　泰夫
	専務取締役　井本　逸夫(開発部長)
	専務取締役　川端　敏(営業本部長)
	常務取締役　後藤　扶美彰(管理本部長)
	取締役　山川　浩文(人事部長)
	取締役　千葉　敬一(情報システム部長)
	取締役　山本　光治(グロサリー部長)
	取締役　堀田　史朗(生鮮部長)
	取締役　塗　謙一郎(経理部長)
	取締役　桐生　宇優(販売部長)
	常勤監査役　野口　晶
	監査役　堀　勝彦
	監査役　中井　実
	監査役　宮脇　憲二

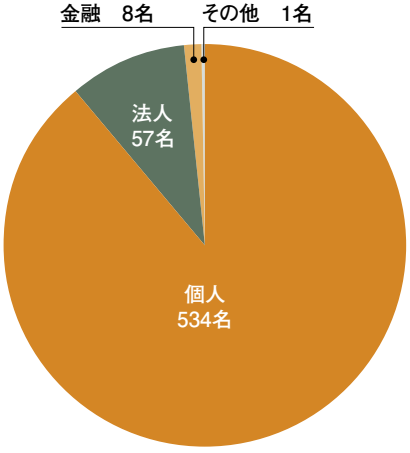
沿　革

昭和46年04月	食品の小売及び卸売を目的として、札幌市手稲西野(現　西区西野)に資本金6,000千円にて、株式会社オレンジチェーンを設立。
48年04月	本社を札幌市西区山の手1条7丁目に移転。
49年05月	商号を株式会社山の手ストアーに変更し、本格的にスーパーマーケットのチェーン展開を開始。 同月、山の手店をはじめ、5店舗の営業を開始。
50年10月	札幌市東区に北49条店を開店。
51年10月	札幌市豊平区(現 清田区)に清田店を開店。
52年12月	札幌市北区に篠路店を開店。同時にEOS(補充発注システム)を導入。
57年05月	株式会社まるせんと合併すると同時に、北雄ラッキー株式会社に商号変更。同時に、本社を札幌市中央区大通西23丁目291-1に移転。
58年07月	石狩町(現 石狩市)花川に花川店を開店。
59年06月	本社を札幌市中央区宮の森3条1丁目1-25に移転。
63年07月	小樽市新光町に朝里店を開店。小樽へ進出。
平成元年07月	本社を札幌市中央区北11条西19丁目36-35に移転。 同月、札幌市南区に川沿店を開店。
2年03月	POS(販売時点情報管理)システムを導入。
3年10月	石狩町(現 石狩市)花川に花川南店を開店。
5年09月	株式会社シティびほろと合併し、シティびほろ店を開店。道東地区へ進出。
6年03月	千歳市錦町に千歳錦町店を開店。千歳市へ進出。
6年04月	紋別郡遠軽町にシティえんがる店を開店。道東地区2店舗となる。
6年11月	子会社、エル食品株式会社を設立し、食品加工卸売業を開始する。
7年02月	保険部門を独立させ、子会社、株式会社アップルを設立。
7年05月	札幌市豊平区(現 清田区)に美しが丘店を開店。
8年03月	本格的にインストアベーカリーを手がけ、以後各店へ導入。
9年03月	山の手店を増床のうえ大幅改装し、新たなプロトタイプの店舗づくりに着手。
10年03月	夕張郡栗山町に栗山店を開店。
12年03月	網走市駒場にシティあばしり店を開店。道東地区3店舗となる。同月、食品の安全性検査のため独自の商品検査室を設置。
13年03月	札幌市北区に新琴似四番通店を開店。
14年03月	中川郡幕別町に札内店を開店。 同月、安全衛生管理室を設置。
14年04月	札幌市手稲区に星置駅前店を開店。
14年10月	日本証券業協会に株式を店頭登録。(現ジャスダック証券取引所)
15年04月	夕張郡長沼町に長沼店を開店。
16年05月	精肉･鮮魚商品を店舗へ供給する生鮮センターを稼動。
16年06月	紋別市渚滑にシティもんべつ店を開店。 道東地区4店舗となる。
17年10月	稚内市新光町にシティ稚内店を開店。道北地区へ進出。
18年03月	札幌市中央区に低温物流センターを取得。
19年07月	小樽市手宮に手宮店を開店。
20年06月	北広島市に大曲店を開店。
20年09月	岩内郡岩内町に岩内店を開店。

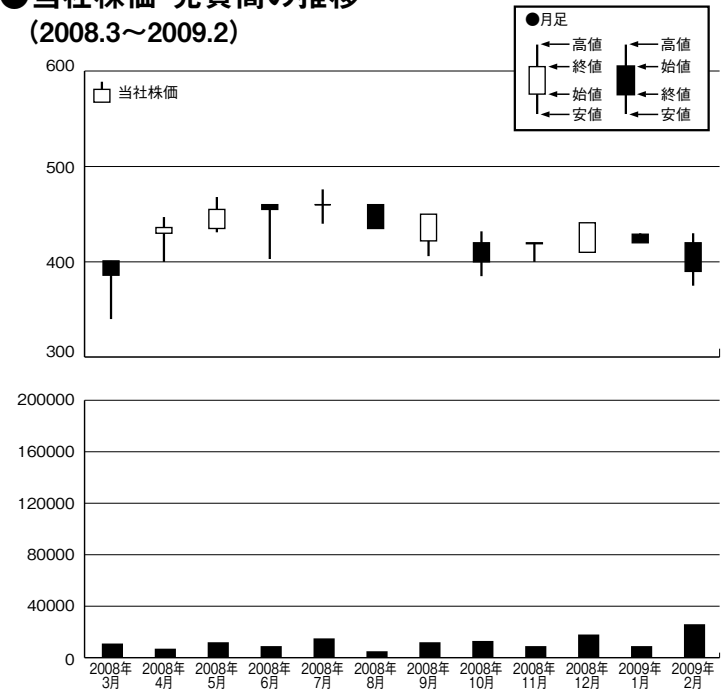
株式の状況（平成21年2月28日現在）JASDAQ:2747

発行済株式の総数	6,645,770株
期末株主総数	600名（前期比 2名増）

●所有者別株主数



●当社株価・売買高の推移
（2008.3～2009.2）



●大株主の状況

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数（株）	出資比率（%）
桐 生 泰 夫	1,257,000	18.91
田 中 嘉 久	515,000	7.75
千 葉 敬 一	350,000	5.27
株式会社 北洋銀行	320,000	4.82
堀　　勝 彦	240,000	3.61
有限会社 まるせん商事	220,000	3.31
久 保 基 彦	187,000	2.81
北雄ラッキー社員持株会	161,000	2.42
千 葉 サ カ ヱ	160,000	2.41
千 葉 幹 治	156,000	2.35

株主メモ

決算期日	2月末日
株主総会	毎年5月
基準日	2月末日 そのほか臨時に必要がある場合には、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	剰余金の配当2月末日 中間配当を行う場合は8月31日
1単元の株式の数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
公告掲載方法	電子公告により行います。
株主優待制度	株主優待制度として、毎年2月末日現在の1,000株以上を保有する株主に対し、年1回三菱UFJニコスギフトカード(5,000円分)もしくは「北海道特産品」を贈呈いたします。

LUCKY

2009.2
第39期 報告書

■株券電子化に伴い、お問い合わせ方法が変わりました。

	●証券会社に口座をお持ちの場合	●特別口座の場合
郵便物送付先	お取引きの証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		☎0120-288-324
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買は出来ません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

本報告書で記述されている当社の現在の計画、戦略、業績予想並びに将来予測などは、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、経済情勢・市況環境等の様々な要因の変化により、実際の事業内容や業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。従いまして、当社の業績や企業価値等をご検討される際に、これら見通しのみに全面的に依拠することは避けていただきますようお願い致します。

また、本報告書に記述するいかなる情報も、当社の株式等の購入や売却を勧誘したり、これらに対する投資をアドバイスする目的で作成されたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。